

申請団体 各位

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟
理事長 鈴木 佑司

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の名義使用について

後援名義使用の申請の際に、以下の書類を提出していただくようお願いいたします。なお、継続事業や毎年実施されている事業に関しまして、改めてご一読の上、申請くださいますようお願い申し上げます。

申請には次の書類が必要です。

1. 後援名義使用依頼書(※別添資料を参照)
2. 主催団体に関する資料(団体概要・規約・役員名簿・直近の決算報告書など)
3. 申請事業に関する資料
 - a)事業計画書(趣旨、目的を含む企画書・該当事業に関する内容・期間・事業責任者名・債務責任者名・広告計画、他の共催・後援の申請状況など)
 - b)事業収支計画書
 - c)実施における詳細スケジュールなど

下記の点にご注意ください。(注意条項)

- ・ **UNESCOおよび日本ユネスコ協会連盟のロゴマークは使用できませんので、予めご了承ください。**
- ・ 印刷物(チラシ、ポスター、パンフレット)などに当連盟の名称をご使用になる場合には、「公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟」とご記載ください。
- ・ 承認のご通知までに3～4週間のお時間を頂きますので予めご了承ください。
- ・ 経費はすべて主催者をご負担ください。
- ・ 申請内容と実施事業が異なる場合、名義使用許可の取り消しをさせていただく場合がありますのでご注意ください。
- ・ 事業実施の際、当連盟の印刷物(団体・事業パンフレット)などの配布を依頼させていただくことがあります。
- ・ 事業終了後は速やかに事業終了報告書をご提出下さい。
* 名義使用承諾書送付時にご参考としてフォーマットを送付いたします。
- ・ 事業実施地域にユネスコ協会が所在する場合は該当ユネスコ協会への後援依頼申請を行ってください。(所在の有無や連絡先は事務局までお問い合わせください。)
- ・ 販売行為を伴う事業の場合には、地方自治体などの公共機関の後援名義使用許可を受けられることを条件とします。

申請方法

申請書類一式を、電子メールまたは郵送にてお送りください。

※電子メールで申請される場合、後援名義使用依頼書は、押印箇所に押印し、スキャンし、PDF形式にてお送りください。

Mail: kikaku@unesco.or.jp

〒150-0013 東京都渋谷区恵比寿1-3-1朝日生命ビル12F

公益社団法人日本ユネスコ協会連盟 後援名義係 宛

2024年 10月 11日

公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟
理事長 鈴木 佑司 宛

早稲田大学国際学生友好会
向井悠人

後援名義使用のお願い

以下の事業に関して公益社団法人日本ユネスコ協会連盟の後援名義を使用することを承認して頂きたい、申請いたします。

なお、申請事業実施について日本ユネスコ協会連盟の後援名義使用のご許可を得ました際には、別添の注意条項を遵守し、貴連盟にご迷惑をおかけしないことをお約束いたします。

また、注意条項に違反した場合は、後援名義取消しなどの処置を受けても異存はありません。

記

1. 事業名

第59回留学生による日本語スピーチコンテスト

2. 実施期間・実施場所

リハーサル:2024年12月8日(日) 9:00-19:00

コンテスト当日:2024年12月15日(日) 13:00-18:00

ともに小野記念講堂で実施予定。

リハーサル時は出場者と運営陣。

当日は有観客での実施に加えて、Youtubeでの配信も行います。

3. 事業の趣旨・目的

早稲田大学国際学生友好会は文化の相互理解を目的とし、日本で勉学に励んでいる留学生や日本を訪れる様々な国の留学生と交流するために、様々な行事を企画し運営する。また早稲田大学から依頼された留学生の日本での生活をサポートする活動なども行う。主なイベントとしては6月にある留学生と会員とが日帰りで旅行に行くSHS、10月にある稲門祭への出店、そして12月のスピーチコンテストなどがある。

スピーチコンテストでは日本の大学や日本語学校で学んでいる留学生が、勉学の成果、日本へ留学して感じたこと、現在の興味・関心などを発表する場とし、日本語でスピーチを行う。当日までの約1ヶ月、留学生と弊サークルの会員とが班を組み、原稿の添削やスピーチの練習をサポートしていく。

当事業の目的として日本人学生と留学生との交流を通じて異文化だけでなく、自国に対する理解を深めるスピーチコンテストという1つの目標に向かって日本人学生と留学生が丸となり共に努力することで、国際交流の形を実現する。

詳細は事業計画書にも記載します。

4. 日本ユネスコ協会連盟が行うユネスコ活動と申請事業との親和性・関連性について

1つは留学生の日本での居場所を作ることにある。私たちのスピーチコンテストの出場者のほとんどは日本で日本語を学ぶ学生である。彼らは親元を離れ異国の地に訪れる。また知り合いがいなければ1人で生活から日本語の勉強までを行うことになる。スピーチコンテストに出場してもらうことで、日本人の友人ができ、彼らに日本での生活をサポートしてもらえる。言語の勉強に関してもネイティブとの会話や添削は非常に有効なものになる。ひいては私たち早稲田大学国際学生友好会(以下WICとする)の活動は地域協働支援につながる。また私たちとしても留学生との対話により自身の世界を広げる良いきっかけとなる。

また、YouTube配信をすることで日本のみならず世界中で見ることができる。コロナでの対面開催が難しい時期にYouTubeでの配信を始めたが、留学生の家族や友人、さらには日本への留学を考えている人にも見てもらえと思い、今年もYouTube配信をすることにした。ユネスコ活動にある世界寺子屋活動のように多くの人に提供でき、彼らの学びの機会にもつながる。

5. 参加費もしくは入場料に相当する費用の 有・無(一人当たり 円) (○で囲む)

6. 主催団体

早稲田大学国際学生友好会

7. 後援団体

(予定・申請中の団体については団体名の後()内にその旨を記載してください)

[協賛]

- ・新日本宝石株式会社
- ・公益財団法人 昭和池田記念財団
- ・一般社団法人 日本在外企業協会
- ・早稲田大学オープンカレッジ修了生の会 稲修会
- ・カシオ計算機株式会社

[後援]

- ・公益社団法人 日本ユネスコ協会連盟
- ・早稲田大学日本語教育研究センター(協力)
- ・各国大使館員日本語スピーチコンテスト実行委員会

※ 必要書類と併せてご提出下さい。

※